

ガイドマップに登場する絵本です。読んだら、 マークの横にしるしをつけてね。



1 トヤのひっこし

文：イチンノロブ・ガンバートル 訳：津田紀子
 絵：パーサンスレン・ボロルマー 出版：福音館書店

はる お 春の終わりの草原に、朝がきました。「きょうは、ひっこしだ。みんな、
 にづくりを てつだうんだぞ」と、トヤのお父さんの声がします。
 モンゴルの草原に住む女の子トヤ、トヤ一家の引っ越しのお話です。



2 りゅうおうさまのたからもの

文：イチンノロブ・ガンバートル 訳：津田紀子
 絵：パーサンスレン・ボロルマー 出版：福音館書店

むかし、モンゴルの草原にふたりの兄弟が住んでいました。ある日、
 弟が竜王様の娘を助けたお礼に「水のもと」が入った箱をもらいます。
 決してふたを開けてはいけないと言われていましたが…。



3 モンゴルのナーダムのけいば ムルンとサルタイ

作：うださちこ 絵：わかやましずこ
 出版：リーブル

モンゴルの草原でくらす男の子、ムルンはナーダムの祭りの競馬に、
 今年初めて出場します。可愛がっている愛馬サルタイが頼りですが、
 ちょっと様子がおかしい…。無事、競馬に出られるのでしょうか？



4 モンゴルの黒い髪

絵・文：パーサンスレン・ボロルマー 訳：長野ヒデ子
 出版：石風社

モンゴルの草原にくらす遊牧民のところに、カササギが危険を知らせ
 ます。草原を奪おうと、邪悪なカラス4羽がやってくる。男たちは
 闘いに行き、残された女たちは、草原や子どもたちを守るために…。



5 モンゴルの昔話より ゴナンとかいぶつ

文：イチンノロブ・ガンバートル 訳：津田紀子
 絵：パーサンスレン・ボロルマー 出版：偕成社

小さいけれど力持ちの少年ゴナンは、村を襲った怪物マンガスを退治
 するために旅に出ます。モンゴルの子どもたちによく知られている、
 ちいさな英雄ゴナンの物語。



6 スーホの白い馬

再話：大塚勇三 絵：赤羽末吉
 出版：福音館書店

むかし、モンゴルにスーホという貧しい羊飼いの少年がいました。ある日
 スーホは白い子馬を拾い、大切に育てます。スーホは立派に育った
 白い馬を連れて町の競馬大会に出場し、見事一位を獲得しますが…。



博物館で

絵本のなかの ほんものを見よう - モンゴル編 -



国立民族学博物館
 National Museum of Ethnology

マップをたよりに展示物をさがしに行こう！
見つけたらの横にしるしをつけてね。

1 てんまく 天幕(ゲル)



トヤたちがくらししている家は、ゲルです。
トヤ一家のような遊牧民たちは、牧草地をもとめて年に4回ほど引っ越しをします。
ゲルの中をのぞいてごらん、絵本にでてきたいろいろな道具を見つけられるかな？

トヤのひっこし

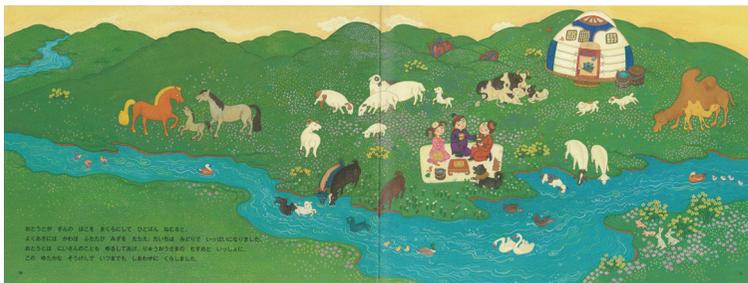
イチノンロブ・ガンバートルの文 パーサンズレン・ボロルマーの絵
津田紀子 訳



2 せいかつようぐ 生活用具



モンゴルの遊牧民は、馬や牛、羊、ヤギ、ラクダや犬、たくさんの動物と生活しています。
動物たちにかこまれて過ごす3人がつかっているうつわや水差し、桶などを展示場で見つけてみましょう。



この絵本に出てくる天幕(ゲル)は、展示しているものよりも少し昔の時代のもので。どこがちがうのか観察してみましょう。

3 うまようあせと 馬用汗取りべら

馬の体に押しあてながら、汗をすいと取ります。表面の彫刻をよく観察してみましょう。
絵本のなかでは、とうさんがサルタイの汗を取っていました。
近くには、ムルンが使っていた鞭や、帽子と同じかたちのものが展示してあります。



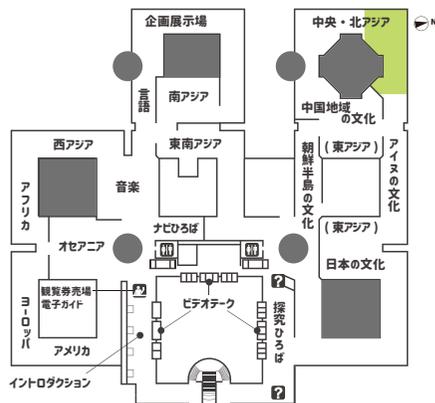
4 ばにゆうしゅようつぼ 馬乳酒用壺

馬乳酒は、馬の乳を発酵させた飲み物で、モンゴルでは大人から子どもまで、家族みんなが飲みます。壺と匙の模様や形をよく観察してみましょう。



アイヌ文化

中央アジア



「ゴナンとかいぶつ」 偕成社
イチノンロブ・ガンバートル 文
パーサンズレン・ボロルマー 絵
津田紀子 訳

6 ばとうきん 馬頭琴



スーホが、白い馬のからだをつかって作った楽器は、馬頭琴といます。楽器の上部には、馬の頭のかたちが彫刻されています。
弦と弓には馬の尻尾の毛が使われています。



5 ぎれいようかめん 儀礼用仮面

絵本にでてくるかいぶつによく似た仮面があります。目が3つ、怖い顔をした2つの仮面は、見た目はおそろしいですが、絵本の中のかいぶつとはちがって、仏様をあらわしています。名前をジャムスラン(赤い守護尊)といい、日本の不動明王のように悪い心を正してくれる仏様です。

